

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	769-8299
部 名	市民部	課 名	市民相談課	課長名	小野 栄治
事務事業名	地域市政懇談会				
予算上の事務事業名	地域市政懇談会				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市広報広聴規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
地区自治会長等と市とのコミュニケーションの場を設け、お互いの理解を深め、住みよいまちづくりを推進することを目的とする。				自治会長及び関係団体の代表者等	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
開催日	8月3日～11月11日				
開催単位	各出張所管区12地区と本庁6公民館区の全18地区				
参加者数	451人 (1会場当たり平均25.1人)				
傍聴者数	25人 (1会場当たり平均1.4人)				
要望等件数	103件				
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体においても同様の事業を実施している。					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	86	266	74	153	117
一般財源	86	266	74	153	117
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	5,157	5,196	5,484	5,484	5,484
事業コスト合計	5,243	5,462	5,558	5,637	5,601
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	地域市政懇談会			対象名称 と単位	開催回数 (回)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,243	5,462	5,558	5,637	5,601
対象数	18	18	18	23	27
単位あたり経費(円)	291,278	303,444	308,778	245,087	207,444
前年度比		1.04	1.02	0.79	0.85

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開催回数（回）		指標式と指標の説明	開催回数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	18.0	18.0	18.0		
目標	18.0	18.0	18.0	23.0	27.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者人数（人）		指標式と指標の説明	参加者数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	460.0	454.0	451.0		
目標	487.0	486.0	486.0	600.0	650.0
目標達成度（%）	94.5	93.4	92.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		この事業は市民の声を市政に活かすために行っており、市政の発展に寄与しているが、津久井地域との合併により、実施回数が増加するなど課題も生じているため、方法等について検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 平成17年度から実施している前年度の議題（要望事項等）に対する各課対応の進捗状況の把握をさらに強化する。			14 課題として認識されたこと 合併に伴い市域が拡大し、開催回数も増加するため、今後の懇談会開催の方策を検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		開催回数及び開催方法について見直しを実施する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			